

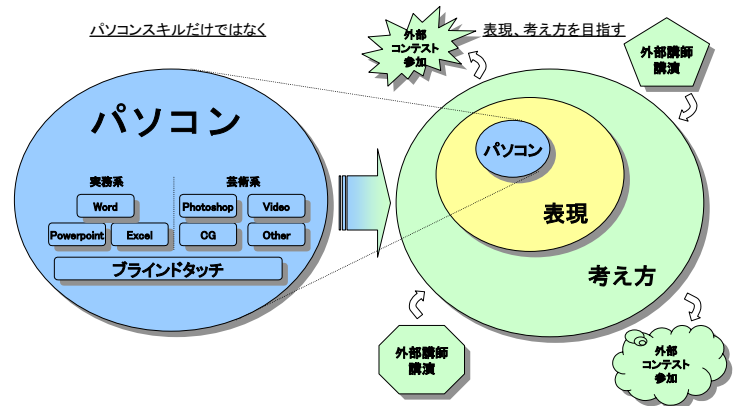
世の中に近づく表現学習

田園調布雙葉中学高等学校 情報科
小林 潤一郎

田園調布雙葉中学高等学校 情報科の目標

パソコンスキルだけではなく、パソコンを使って何を表現するのか、その表現というのはどのような考え方から成り立っているのか、ということに主眼を置くことを第一の目標にしている。

2003 年度は日本経済新聞社が開発した教育プログラム^{※1}をベースに、以下の大きな2つのプロジェクトを実践しました。



1、企業研究プロジェクト

(選択情報 高校3年生 9名)

吉野家と日産からミッション(課題)をもらい、生徒が提案書を作成し、最後は、本社に出向いて、役員の方にプレゼンを行いました。

(詳しくは<http://www.manabinoba.com/index.cfm/4,3066,76,html>)

2、マネー&ライフプロジェクト(選択情報 高校3年生 9名)

やりたい仕事とお金になる仕事の2軸で考える作業を行い、社会人30人を呼んで、ディスカッションを行いました。最後は、自分の将来についてプレゼンを行いました。

(詳しくは<http://www.manabinoba.com/index.cfm/4,3548,76,html?year=2003>)

どちらも、パソコン教育にとどまらない、自分の考えを自分の言葉で表現することを重視した実践となっています。また実際の社会人を絡ませることにより机上ではない、世の中に近い(世の中で役に立つ)環境で授業を行いました。

生徒たちは、自己表現の楽しさ、重要さを強く認識してくれました。

下記のような小規模プロジェクトも進行中です。

3、コンビニ研究プロジェクト(選択情報 中学3年生 15名)

コンビニシミュレーションソフト「やってみ店長^{※2}」を用いて、売上、利益などの考え方を学び、実際の世の中の仕組みを体感してもらった授業となっています。

学校近くのローソンへのインタビューを行い、フィールドワークを含めた実践となっています。

※1 日経エデュケーションプログラム <http://www.edu.nikkei.co.jp/>

※2 やってみ店長 <http://www.kigyokakyoiku.com/>

実践例を示すことで同様の思いを持っている方と交流を深め共同授業等、展開できればと思っております。興味のある方下記まで連絡ください。

小林潤一郎 E-mail: jkobayashi@denenchofufutaba.ed.jp